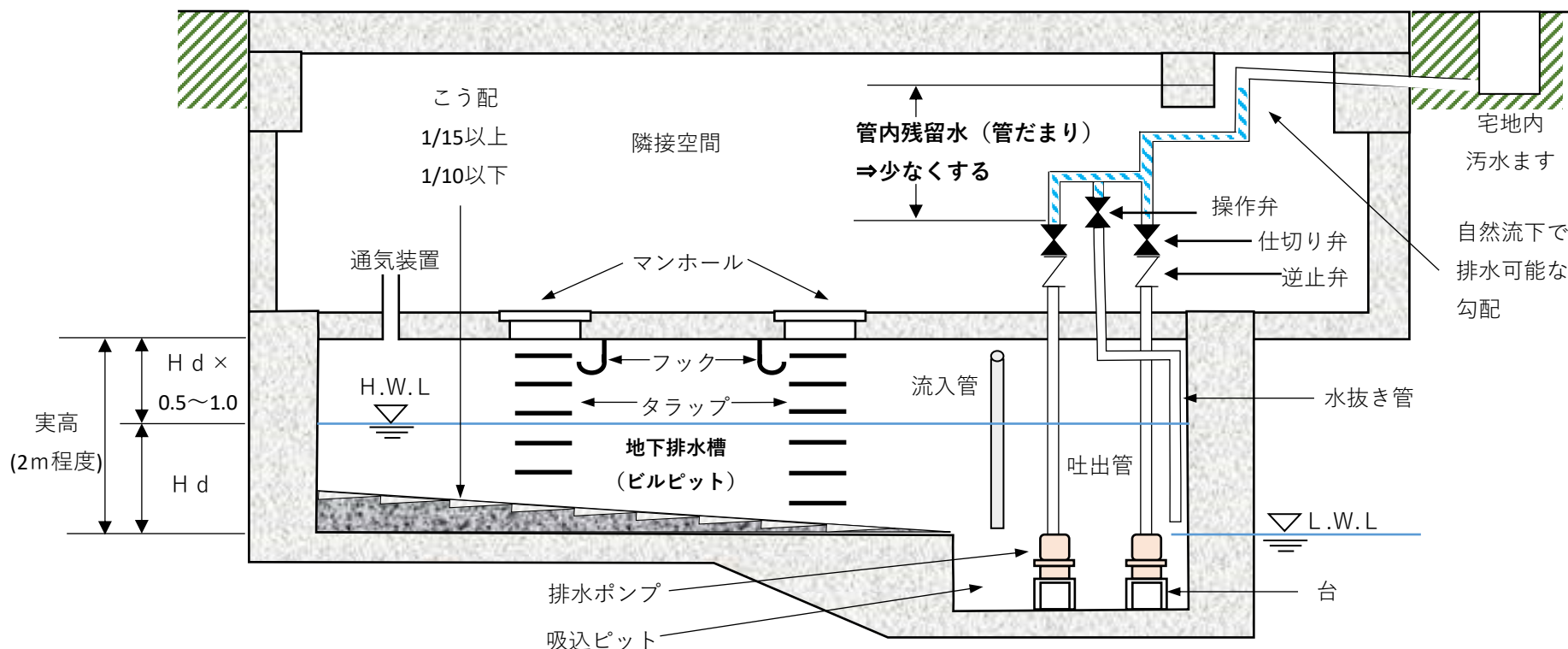


地下排水槽（ビルピット）設計の手引 チェックリスト

ビル名： _____ 排水槽名： _____ 担当者： _____ 確認日： _____



大項目	小項目	内容	ページ	確認者①	確認者②
設置計画	排水槽	点検・清掃などの維持管理に支障がない場所 汚水槽、雑排水槽を分離	6 7		
	排水経路	自然流下で排除が可能な排水はポンプ排水と別系統	6		
構造設計	排水槽	一槽式(二槽以上の場合はそれぞれにポンプを設けること) 側壁の隅角部へハンチを設置(汚水滞留のおそれがある場合) 漏水しない構造	8 8,10 9		
	実高	有効水深(Hd)の1.5~2倍 (2m程度)	9		
	吸込ピット	排水ポンプの吸込管の外側及び底部から20cm程度の間隔	9		
	底部の勾配	吸込ピットに向かって全ての方向から1/15以上1/10以下 階段を設置	9		
	マンホール	槽ごとに安全に維持管理を行える位置へ2箇所設置 防臭型とした 腐食防止を施したフックを設置	10		
	流入管	吸込ピットに直接流入 ポンプの水位制御に支障を生じない位置	10		
	有効容量	$V = (B \div A) \times C$ V :排水槽の有効容量 (m ³) A:排水槽に流入する地階部分の給水時間 (時間/日) B:排水槽に流入する平均排水量 (m ³ /日) C:排水を貯留する時間 (2~2.5時間)	11		
	悪臭対策設備	ばっ気・攪拌併設装置の設置 水抜き管及び操作弁の設置	15		
	通気装置	通気管の管径は50mm以上 開口部には害虫侵入防止の網といった衛生上の対策を講じた 単独で設置し建築物の外部に直接解放 開口部の高さや向きを考慮	16		
	阻集器	阻集器を経由して雑排水を排出 保守点検などが容易に行える場所へ設置	17		
排水ポンプ	選定基準	排水の種類 (汚水、雑排水、汚物) と容量に適したもの	18		
	台数	複数のポンプ (予備ポンプ含む) を設置	18		
	吐出し管	屋外の汚水ますへ接続 自然流下で排水可能な勾配 耐食性のある材質 堅固で漏水がない継手 (必要に応じて可とう継手) を設置	19		
	逆流防止	ポンプ単独の吐出し管の途中に逆止弁、仕切り弁を設置 逆止弁、仕切り弁は排水槽の隣接空間に設置	20		
	制御方式	始動水位が規定水位以下となるような制御装置を設置 2時間以内で運転するためのタイマーを設置	21		
	運転水位	排水ポンプの停止水位 = 使用ポンプの「運転可能な最低水位」 タイマー運転最低水位 = 停止水位から上方最大5cmまで	21		